

仙台市自動車運送事業経営改善計画  
(平成29年度～平成33年度)

平成30年度実施結果・評価

# 目次

## 1 お客様サービスの向上

### (1) 便利で利用しやすいサービスの提供

- ① 定時性の向上に向けたダイヤの編成（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ② 地下鉄等との連携強化によるサービスの向上（輸送課）・・・・・・・・ 2
- ③ ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実  
（経営企画課・業務課・輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ④ バス待ち環境の向上（輸送課）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

### (2) 安全・快適なサービスの提供

- ① 運転技術の向上と安全運行の徹底（業務課）・・・・・・・・・・・・ 5
- ② 接客教育の充実による接客サービスの向上（業務課）・・・・・・ 6
- ③ 人とまちに優しいバス車両の導入（整備課）・・・・・・・・・・・・ 7
- ④ 災害対応訓練の実施（業務課）・・・・・・・・・・・・ 8

## 2 安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築

### (1) 増客・増収に向けた取り組み

- ① 市バスの利用促進に向けた取り組み（経営企画課）・・・・・・・・ 9
- ② 新たな需要の捕捉と取り込み（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 10
- ③ 運賃制度及び運賃水準の検討（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 11
- ④ 広告料収入の確保（経営企画課）・・・・・・・・・・・・ 12
- ⑤ 親しみの持てる市営バスへの取り組み（経営企画課）・・・・・・ 13
- ⑥ 資産の有効活用（業務課・財務課）・・・・・・・・・・・・ 14

### (2) 効率的経営に向けた取り組み

- ① 人件費の抑制に向けた取り組み（総務課）・・・・・・・・・・・・ 15
- ② 管理の委託の継続的な活用（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 16
- ③ 利用状況に応じた運行の効率化（輸送課）・・・・・・・・・・・・ 17
- ④ バス車両にかかる投資額抑制（整備課）・・・・・・・・・・・・ 18
- ⑤ 施設の効率的な管理・更新（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 19
- ⑥ 燃料費・光熱水費の節減（財務課・業務課）・・・・・・・・・・・・ 20

### (3) 組織の活性化に向けた取り組み

- ① 乗務員の安定的な確保と育成（総務課・業務課）・・・・・・・・ 22
- ② 業務への意欲を高める取り組み（総務課・業務課）・・・・・・ 23
- ③ 職員の意識の向上と働きやすい環境づくり（業務課）・・・・・・ 24

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(1)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	定時性の向上に向けたダイヤの編成

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	道路渋滞などの走行環境を考慮したダイヤ編成によって各バス停の時刻表と実際の運行におけるバス停通過時刻の差を解消し、バスの定時性を高めることでバスの利便性向上を目指す。
内容	・運行区間ごとに状況を把握・分析し、道路渋滞などの走行環境を考慮した適切なダイヤ編成を実施する。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・平成30年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況や遅延状況を確認し、時刻表の見直しが必要となる停留所では、次回のダイヤ改正で実態に合わせて見直しを行い、定時性の向上を図る。
事業実績	・平成30年4月ダイヤ改正後、「バス停通過時刻の遅れ10分以上」の割合が改善した(平成30年度14.8%、平成29年度15.8%、平成28年度21.7%)。 ・平成30年4月ダイヤ改正後、「バス停通過時刻の遅れ5分未満」の割合は横ばいで推移した(平成30年度44.2%、平成29年度44.7%、平成28年度38.7%)。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(1)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	地下鉄等との連携強化によるサービスの向上

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	バス、地下鉄等とを乗り継いで利用しやすいダイヤ設定に取り組むことにより、市バスと地下鉄とを組み合わせた移動の利便性向上を目指す。
内容	・バスと地下鉄・JR線との乗り継ぎを考慮したダイヤを設定する。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・地下鉄・JR線の駅を運行するバス路線について、平成30年4月に実施したダイヤ改正後の運行状況等を確認し、バスから地下鉄等、地下鉄等からバスに、より乗り継ぎしやすい時刻設定に努める。
事業実績	・JRのダイヤ改正に合わせたバスのダイヤ改正を実施し、より乗り継ぎしやすい時刻設定を行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(1)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	ホームページなどを活用した「知りたい」に応える情報提供の充実

担当課係

経営企画課	企画係・営業推進係
業務課	庶務係
輸送課	管理係

目的・必要性	インターネット等を活用した分かりやすい情報提供に努めることにより、バス・地下鉄に関する様々な情報を手軽に入手できる便利なサービスの充実を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通局のホームページや配付物などを通じ、市営バスの運行情報や運賃のご案内に加え、各種イベント情報など、様々な情報をお知らせする。</li> <li>・「どこバス仙台」、及び「せんだい市バス・地下鉄ナビ」をそれぞれインターネット上で運用する。</li> <li>・ホームページ等の多言語表記を充実させる。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コンテンツ表示について、専門用語を多用せず、わかりやすい表示に努める。</li> <li>・「どこバス仙台」の運用により、バスの接近状況や混雑状況等をリアルタイムに提供する。</li> <li>・「せんだい市バス・地下鉄ナビ」の運用により、市営バスや地下鉄での移動に係る経路・運賃・時刻表等の情報を提供するとともに機能改善の検討を行う。</li> <li>・ホームページの多言語表記を充実させるよう検討する。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どこバス仙台」を確実に運用した。</li> <li>・「せんだい市バス・地下鉄ナビ」のサービス提供を行うとともに、令和元年度実施予定の機能改善業務に向けた必要な準備を行った。</li> <li>・平成31年3月に交通局Twitterアカウント(@sendaishi_kotu)を開設し、運行情報やイベント情報等のTwitter配信を開始した。</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(1)-(4)
大区分	お客様サービスの向上
中区分	便利で利用しやすいサービスの提供
事業名	バス待ち環境の向上

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	お客さまが安全かつ快適にバスを待つ環境整備を進めるため、停留所上屋の新設や修繕、停留所標識の電照化等、ハード面の更なる向上を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停留所上屋の設置・修繕や、電照式バス停留所等の着実な整備を進める。</li> <li>・時刻表の文字を大きくするなど、表示方法の工夫を行う。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成初期までに設置したバス停留所の上屋の修繕補強、塗装工事等を行い、バス待ち環境の安全性向上を図る。</li> <li>・広告付を含むバス停留所上屋の設置や、LED電照式標識の設置により、快適なバス待ち環境改善の整備を進める。</li> <li>・計画数：上屋修繕10箇所、上屋設置6箇所、電照式停留所標識設置5箇所</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上屋の修繕 7箇所。</li> <li>・上屋の設置 4箇所(うち広告付上屋1箇所)。</li> <li>・電照式停留所標識の設置 5箇所。</li> </ul>
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(2)-①
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	運転技術の向上と安全運行の徹底

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	乗務員の運転技術の向上と安全運行の徹底に向けた研修などにより、事故防止に取り組み、安全性のさらなる向上を目指す。
内容	様々な研修の実施を通して、乗務員の運転技術の向上や安全に対する意識の浸透を図り、有責事故発生件数の減少を目指す。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有責事故抑止目標件数 80件</li> <li>・10万kmあたりの有責事故抑止目標 0.51件</li> </ul> <p>平成23～28年度の10万kmあたりの有責事故件数の平均値(0.52)を目標設定とし、以後、計画期間中の目標設定では毎年度2.5%減少させ、計画最終年度には10%減となるよう設定する。</p>
事業実績	<p>【有責事故抑止目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有責事故抑止目標80件に対し、99件(平成29年度 93件)</li> <li>・10万kmあたりの有責事故抑止目標0.51件に対し、0.59件(平成29年度 0.54件)</li> </ul> <p>【研修実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故削減プロジェクト研修 138名／るーぷる仙台兼任乗務員研修 10名／正職員採用時研修 8名／再任用職員研修 20名／クレフィール湖東交通安全研修 3名／他都市研修 5名／乗務経験1年未満乗務員研修 31名</li> </ul>
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	各種研修を計画通りに実施したものの、有責事故抑止目標を達成できなかった。 事故惹起者に対してはドライブレコーダー映像を活用した個人研修を行い、安全意識の向上と再発防止に努めている。

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(2)-②
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	接客教育の充実による接客サービスの向上

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	乗務員への接客研修の充実などにより、接客サービスを向上させ、より快適にご利用いただけるサービスの提供を目指す。
内容	・乗務員への様々な接客研修を充実させることにより、市バスモニター制度の平均評価の向上及び年間苦情件数の減少を目指す。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市バスモニター平均点 33.4点 平成29年度目標の32.6点を目標値と設定し、計画最終年度には10%増となるよう設定する。</li> <li>・苦情年間総件数 63件以内 平成29年度の数値目標を定めた後、毎年度2.5%減とし、計画最終年度には10%減となるよう設定する。</li> </ul>
事業実績	<p>【市バスモニター制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市バスモニター平均点目標33.4点に対し、全体 35.0点、直営 35.4点、委託 34.7点で目標達成</li> </ul> <p>【苦情・賞揚件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間苦情総件数目標63件以内に対し、54件(平成29年度比 4件増)で目標達成</li> <li>・年間賞揚総件数 154件(平成29年度比 14件減)</li> </ul> <p>【指導・研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員添乗総件数 1,559件(業務課職員 1,050件、営業所職員509件)</li> <li>・接客サービス向上(CS)研修 155名受講</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	新人研修に重点的に取り組んだことにより、職員添乗件数については前年度比減となった。

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(2)-③
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	人とまちに優しいバス車両の導入

担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	高齢者や障害のある方でも乗り降りの負担が少ない、かつ、排出ガスによる環境負荷の少ないバス車両の導入により、人にもまちにも優しいバスサービスの提供を目指す。
内容	・障害のある方も乗り降りしやすい、国の最新の自動車排出ガス規制に適合したアイドリングストップ装置付きノンステップバスを計画的に導入する。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低公害バス車両について、アイドリングストップ装置付きバスを26両導入する(るーぷる仙台1両含む)。 ※低公害バス＝アイドリングストップ装置付きディーゼルバス、ハイブリッドバス、CNGバス</li> <li>・低床バス車両について、ノンステップバスを26両導入する(るーぷる仙台1両含む)。 ※低床バス＝ノンステップバス、ワンステップバス</li> </ul>
事業実績	・るーぷる仙台1両を含む全26両(新車23両、中古車3両)について、低公害バス、低床バスを導入し、在籍車両に占める低公害バス比率を91%、低床バス比率を78%とした。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	1-(2)-(4)
大区分	お客様サービスの向上
中区分	安全・快適なサービスの提供
事業名	災害対応訓練の実施

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	将来、再び大規模災害が発生した時にも、交通事業者として適切な対応を行い、お客様の安全を守ることができるよう、災害対応訓練を実施する。
内容	・東日本大震災の経験を踏まえ、独自災害対応訓練や集団災害対応訓練を定期的実施する。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業所独自の災害対応訓練を実施する。</li> <li>・事故・災害・事件等対応訓練については、隔年の実施としており、平成30年度は実施しない予定としている。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業所独自の災害対応訓練(非常用発電機の作動訓練、災害支援バイクの点検)を毎月随時実施した。</li> <li>・春と秋の全国火災予防運動を実施した(延べ65名参加)。</li> <li>・11月21日 国民保護に関する情報の配信に伴う無線による情報伝達訓練を実施した(Jアラートへの対応)。</li> <li>・3月20日 地下鉄運行停止時に伴う情報伝達訓練の際に、災害支援バイクを使用し、仙台駅西口バスプールと地下鉄泉中央駅に職員を派遣した。</li> </ul>
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(1)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	市バスの利用促進に向けた取り組み

担当課係

経営企画課	企画係
-------	-----

目的・必要性	バスの利用促進に向けた様々な取り組みを、関係部局とも協力しながら進めることにより、クルマから公共交通への利用転換を促し、増客及び増収を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市が実施する、公共交通利用促進に向けた取り組みである「せんだいスマート」との連携・協力や、交通局独自の利用促進キャンペーンを積極的に展開する。</li> <li>・交通局内のプロジェクトチームを中心に利用促進策を検討し、交通局を挙げて増客に取り組んでいく。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と協力しながら、モビリティマネジメントを積極的に展開する。</li> <li>・「学都仙台フリーパスアンケートキャンペーン」を通じて、お客様のニーズを把握し、より良いサービス提供に向けた検討を行う。</li> <li>・定期券発売窓口の混雑緩和策の検討・実施。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4～5月に、「学都仙台フリーパスアンケートキャンペーン」を通じてフリーパスの販売促進を行うとともに、お客様のニーズを把握し、より良いサービス提供に向けた検討を行った。</li> <li>・平成30年7～8月に、大学・高等学校のオープンキャンパス等において、関係機関と協力しながらパンフレット配布を実施した。</li> <li>・平成31年2月に、無料一日乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配布し、卒業を機に進学・就職等で行動範囲が大きく広がる中学3年生を対象にした利用促進を図った。</li> <li>・年度始めの定期券発売窓口の混雑緩和を図るため、①窓口混雑情報の提供 ②学生・生徒に対する定期券の早期購入勧奨 ③インターネットでのフリーパス事前申込受付など、各種施策を実施した。</li> <li>・交通局の広報紙である市バス・地下鉄かわらばん「のるっちゃん」をバス車内等で配布した(5回発行 1回あたり15,000部)。</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(1)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	新たな需要の捕捉と取り込み

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	需要を捉えた運行経路等の設定について検討し、事業の採算性向上を目指す。
内容	・大規模集客施設の新設などにより生じる新たな需要を捉え、これを取り込むことで事業の採算性向上が期待できるバス路線の設定について検討を実施する。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・大規模集客施設の新設等、大きな新たな需要が見込める機会の情報収集を行い、機会が生じた場合は、採算性を踏まえて、新たなバス路線の設定について検討する。
事業実績	・大規模集客施設新設等の対象案件がなかった。
評価	取り組みの対象案件がなかった
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(1)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	運賃制度及び運賃水準の検討

担当課係

経営企画課	企画係
-------	-----

目的・必要性	運賃制度・運賃水準の見直しにより、収益性、採算性の改善を目指す。
内容	・収支の状況を踏まえながら、運賃制度や運賃水準のあり方について検討し、その見直しを進める。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支の状況を分析し、運賃制度や運賃水準のあり方について検討を行う。</li> <li>・市バスフリーパス等の運賃改定にあたって十分な周知広報を行う。</li> <li>・令和元年10月消費税改定に向けた対応を着実に進行。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市バスフリーパスの運賃改定に係る条例案が平成30年第1回定例会で継続審査となったことを踏まえ、経営改善に向けた取り組みについてお客様の理解が得られるよう、丁寧な説明と周知広報に取り組んだ。</li> <li>・平成30年10月1日に、市バスフリーパス、都心バス120円均一運賃、市中心部の初乗り運賃の運賃改定を実施した。</li> <li>・令和元年10月1日の消費税率引き上げに対応するための条例案を平成31年第1回定例会に提出し可決された。</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(1)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	広告料収入の確保

担当課係

経営企画課	営業推進係
-------	-------

目的・必要性	広告料収入の確保に向けた取り組みを進め、収益性の改善を目指す。
内容	・広告媒体の販売方法の工夫や認知度を高めるための取り組みなどにより、引き続き着実な広告料収入の確保に努める。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・広告料収入について、平成30年度予算に掲げた163,392千円の達成を目指す。
事業実績	・平成30年度広告料決算額は159,252千円であり、目標達成には至らなかった。 決算額内訳 割当広告:88,288千円、申込広告:70,964千円(うちボディー広告69,628千円) ・上半期に東北各県226自治体や首都圏主要大学146校への広告案内の発送を実施し、下半期に各方面より広告の申し込みをいただいた。
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(1)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	親しみの持てる市営バスへの取り組み

担当課係

経営企画課	営業推進係 icsca事業係
-------	-------------------

目的・必要性	オリジナルグッズの作成・販売や大規模イベント等のタイアップなどを行うことにより、市営バスのイメージアップを図り、利用促進を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルグッズの作成、販売を実施する。</li> <li>・営業所等の施設を見学する「バス・地下鉄親子探検ツアー」を開催する。</li> <li>・大規模集客イベント等とのタイアップを行う。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回バス・ちか祭りの開催。</li> <li>・宮城バスまつりへの参加。</li> <li>・市バスオリジナルグッズの作製・販売等。</li> <li>・大規模集客イベント等とのタイアップ。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年9月2日に、第2回バス・ちか祭りを開催した(来場者6,000名)。</li> <li>・例年開催しているイベント等において、オリジナルグッズの販売を実施した。</li> <li>・平成29年度に引き続き、川内営業所で夏休み親子バス探検ツアーを開催した。</li> <li>・タイアップとしては、プロスポーツチームや情報誌「S-style」等と引き続き実施したほか、ディズニー映画「シュガー・ラッシュ:オンライン」公開に合わせて、初の車内放送告知を実施した。</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(1)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	増客・増収に向けた取り組み
事業名	資産の有効活用

担当課係

業務課	庶務係
財務課	会計係

目的・必要性	バス事業資産の有効活用などを進め、さらなる収入の確保を目指す。
内容	・遊休不動産の貸付などの新たな有効活用策について検討を行う。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・木町通・新寺駐車場の一部を民間バス事業者の有償貸付するなどバス事業資産の有効活用を継続的に進めるとともに、新たな有効活用策について検討しさらなる収入の確保を目指す。
事業実績	・平成29年度に引き続き新寺駐車場及び岡田出張所跡地の有償貸付を行なうとともに、平成30年4月から新たに木町通駐車場の有償貸付を実施した。 ・平成30年11月から植松用地の事業用定期借地権設定契約による貸付を実施した。 ・行政財産の目的外使用許可により特定の事業者へ設置を許可していたバス営業所等における飲料・タバコの自動販売機について、平成30年9月より一般競争入札による設置事業者の選定に切り替えたことにより、目的外使用許可による収益を大幅に上回る収益を確保することができた。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(2)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	人件費の抑制に向けた取り組み

担当課係

総務課	人事係 労務係
-----	------------

目的・必要性	今後10年間で現在在籍している正職員乗務員の8割近くが定年退職する状況を踏まえつつ、バスの運行に要する費用のうち大きな割合を占める人件費を抑制することにより、事業経営のさらなる効率化を図る。
内容	・適正な定員管理、嘱託職員の活用及び効率的なダイヤ編成などにより、人件費の抑制を目指す。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の事業規模等を考慮した必要乗務員数を精査し、適切な採用手法や採用規模により人材を確保する。</li> <li>・働き方改革関連法案の動向を踏まえながら、可能なものから労働条件の見直しを実施していく。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の事業規模等も踏まえた適正な人員体制を考慮しつつ、最低限必要な人員が確保できた。</li> <li>・効率的なダイヤ編成に向けて働き方改革関連法の情報収集等とあわせて、労働条件の見直しについて検討を進めた。</li> </ul>
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(2)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	管理の委託の継続的な活用

担当課係

輸送課	管理係
-----	-----

目的・必要性	管理の委託の活用により、引き続き運行経費の圧縮を図る。
内容	・引き続き、経費削減に資する管理の委託の活用を図っていく。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・現在の委託規模(概ね事業量の2分の1)を維持しながら、将来の収支改善に資する管理の委託のあり方を検討する。 ・今年度期限を迎える七北田出張所の管理委託について、次年度以降の委託先の選定を行う。
事業実績	・今後の管理のあり方を検討するため、他都市状況について調査した。 ・七北田出張所の委託契約を更新した(令和元年度～令和5年度)。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(2)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	利用状況に応じた運行の効率化

担当課係

輸送課	運行計画係
-----	-------

目的・必要性	路線バスの系統・区間の利用状況を詳細に分析し、減便等を行うことにより、運行の効率化を図り、持続可能な経営体質の構築を目指す。
内容	・利用状況の詳細な分析を行い、減便等によって運行の効率性向上を目指す。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・平成30年4月に実施したダイヤ改正後の利用状況の詳細な分析を行い、次回ダイヤ改正の内容について検討する。
事業実績	・平成30年4月に実施したダイヤ改正後の利用状況を分析し、今後のダイヤについて検討した。 ・平成31年4月のダイヤ改正において、一部の便について、より利用の見込める経路への変更等を行った。
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(2)-④
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	バス車両にかかる投資額抑制

担当課係

整備課	管理係
-----	-----

目的・必要性	バス車両に係る投資額を抑制することにより、事業運営経費の圧縮を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中古バス車両の活用により、必要車両数の確保に努めながら投資額の抑制を図る。</li> <li>保有車両全般にわたる状態調査を実施し、適切な車両の保全により、計画的な車両更新に努める。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>中古バス車両の導入。</li> <li>車両状態調査の実施。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>中古バス車両について3両導入した。</li> <li>車両状態調査の結果に基づき、適切な車両保全を行った。</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(2)-⑤
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	施設の効率的な管理・更新

担当課係

財務課 業務課	契約管財係 庶務係
------------	--------------

目的・必要性	施設の改修や更新の計画的な実施により、施設の長寿命化を図るとともに、長期的視点から維持管理経費の節減を目指す。
内容	・営業所や出張所及び整備工場の建築物や、その他付帯設備などの施設の状況調査を行い、資金計画も考慮しながら適切な改修・更新計画を策定するとともに、これを着実に実施する。

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・改修・更新計画を策定し、この計画に基づき令和元年度工事予算要求を行う。
事業実績	・平成29年度に作成した改修・更新計画案の補足修正作業に時間を要し、計画策定には至らなかった。
評価	計画に遅れが生じている(あまり成果が上がっていない)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(本局)

担当課係

財務課	契約管財係
-----	-------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を勧めることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。</li> <li>・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	・交通局本局庁舎において、冷暖房機器の適正な運転管理と室温管理を徹底するなど、設備の適切な使用により、平成29年度の使用実績を下回るよう努める。
事業実績	・交通局本局庁舎について、電気・ガス・水道年間使用量のいずれも平成29年度の使用実績を下回り、目標達成した。 (平成29年度比 電気使用量 0.2%減、ガス使用量 9.9%減、水道使用量 11.5%減)
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(2)-⑥
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	効率的経営に向けた取り組み
事業名	燃料費・光熱水費の節減(営業所・出張所分)

担当課係

業務課	庶務係、指導係
-----	---------

目的・必要性	バスの運行に要する燃料使用量や交通局庁舎・営業所・出張所における光熱水費のさらなる節減を勧めることにより、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料使用量の節減に向けて、引き続きエコドライブに取り組む。</li> <li>・交通局庁舎・営業所・出張所において、電気・ガス・水道使用量の節減を図る。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス営業所の光熱水費について、平成29年度の使用実績を下回るよう努める。</li> <li>・エコドライブ強化月間に合わせ「ecoだより」を発行するなど、燃料使用量の節減に関する職員の意識向上を図る。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス営業所について、電気・水道年間使用量は平成29年度の使用実績を下回り目標達成したが、ガスは上回り目標達成できなかった。(平成29年度比 電気使用量 2.8%減、水道使用量 10.6%減、ガス使用量 5.5%増)</li> <li>・バスの燃費については平成29年度を下回る結果となった。(平成29年度比 0.8%減 ※平成29年度 2.37km/平成30年度 2.35km)</li> <li>・エコドライブ強化日(毎月第3水曜日)の点呼時に乗務員にエコドライブの指導を行った。</li> <li>・「ecoだより」を発行し、燃料使用量の節減に関する職員の意識向上を図った。</li> </ul>
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(3)-①
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	乗務員の安定的な確保と育成

担当課係

総務課 業務課	人事係 指導係
------------	------------

目的・必要性	事業を安定的・継続的に持続させるため、乗務員の安定的な確保と育成、資質向上を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型自動車二種免許を有していない若年層を採用し、免許を取得させる養成制度を継続する。</li> <li>・運転操作や接遇等に関する実践的な研修の実施により、職員の資質向上を図る。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託バス運転手採用試験の実施。</li> <li>・バス運転手教習生採用試験の実施。</li> <li>・職員に対する各種研修の実施。</li> </ul>
事業実績	<p>【運転手採用】</p> <p>生産年齢人口の減少等により、採用環境が厳しくなる中、広報媒体の見直しや、採用試験の実施回数の増加などにより、事業量に必要な最低限の人員を確保できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用嘱託職員(免許あり) 10名採用</li> <li>・バス運転教習生(臨時職員/免許なし) 22名採用</li> </ul> <p>【各種研修実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・るーぷる仙台兼任乗務員教習 10名／正職員採用時教習 8名／副所長・運行管理者研修(2回実施) 延べ80名／再任用職員研修 20名／新規実務指導員研修 13名／実務経験1年未満乗務員研修 23名</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(3)-②
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	業務への意欲を高める取り組み

担当課係

総務課 業務課	総務係・人事係 指導係
------------	----------------

目的・必要性	乗務員の意欲や意識を向上させるための様々な取り組みを進め、職員のモチベーションを高め、サービスの質的向上を図る。 また、業務上の疑問、意見、悩みを聞き、風通しのよい職場を実現する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善意見提案制度や業務改善に向けたプロジェクトチームなど様々な方法を通して、職員からの意見を事業運営に反映させていく。</li> <li>・接客サービスなどで優秀な成績を収めた職員の表彰を実施する。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客サービスなどで優秀な成績を収めた職員を表彰するなどの取組みを行い、職員一人ひとりの業務への意欲を高める。</li> <li>・業務改善意見提案制度を活用し、職員の提案・意見を事業運営に反映させる。</li> <li>・業務改善プロジェクトチームを設置し、年間を通じて活動を行うことにより、職員の意欲や意識の向上を図る。</li> <li>・職員の声を実施し、業務上の疑問、意見、悩みを聞くことにより風通しの良い職場を実現する。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間待遇優秀職員表彰(管理者表彰)10名</li> <li>・平成30年1月～12月期職員市バスモニター表彰(自動車部長表彰)延べ152名</li> <li>・業務改善意見提案件数 計51件(優秀賞2件、努力賞14件、提案活動賞1件)</li> <li>・業務改善プロジェクトとして、「イベント等を活用した増客や企業イメージ向上等の検討」及び「トラブル発生時の対応能力の取り組み・バス車内におけるマナーアップの働きかけについて」をテーマに会議を計14回実施した。</li> <li>・「職員の声」件数 0件</li> </ul>
評価	ほぼ計画通り進んでいる(ほぼ成果が上がっている)
備考	

平成30年度

自動車運送事業経営改善計画個別管理・評価シート

個別計画概要

番号	2-(3)-③
大区分	安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築
中区分	組織の活性化に向けた取り組み
事業名	職員の意識の向上と働きやすい環境づくり

担当課係

業務課	指導係
-----	-----

目的・必要性	職員の意識の向上と働きやすい環境づくりに向けた取り組みを進めることにより、一人ひとりが心身ともに充実した状態で働けるような環境づくりを目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業所と管理部門の職員との意見交換会を実施する。</li> <li>・安全確保や健康管理等について、日頃から情報交換がしやすい職場環境づくりを進める。</li> <li>・コンプライアンス遵守に向けた職場内研修を実施していく。</li> </ul>

平成30年度 計画取組状況及び評価

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業管理者・安全統括管理者と乗務員との意見交換会の実施(年3回)。</li> <li>・安全統括管理者・各課長と乗務員との意見交換会の実施(年3回)。</li> <li>・営業所長及び主幹と乗務員との意見交換会(職場研修会・毎月随時開催)。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月5日・7月17日・7月24日 事業管理者・安全統括管理者と乗務員との意見交換会を実施(各営業所1回)、延べ45名参加。</li> <li>・11月15日・11月26日・12月6日 安全統括管理者・各課長と乗務員との意見交換会を実施(各営業所1回)、延べ53名参加。</li> <li>・営業所長及び主幹と乗務員との意見交換会を実施(職場研修会・毎月1回・計12回)、延べ872名参加。</li> <li>・4月12日・7月24日 るーぷる仙台乗務員との意見交換会を実施(計2回)、延べ16名参加。</li> <li>・乗務員を対象とした事故削減プロジェクト研修において、安全統括管理者との意見交換会を実施(計12回)、延べ138名参加。</li> </ul>
評価	計画通り進んでいる(成果が上がっている)
備考	